

# 知財経営推進企業協会

## 中小の知財経営支援

### 専門家とマッチング

知財経営推進企業協会（IPMA、東京都新宿区、矢間伸次理事長、03・5925・8871）は、知的財産の課題を解決する専門家「知財エキスパート」と、中小企業をマッチングするサービスに乗り出す。2012年1月から中小企業からの相談への対応を始める。相談内容に応じた分野の専門知識を持つ知財エキスパートを紹介し、知財経営を後押しする。年間に30社のマッチングを計画している。

IPMAが認定する知財エキスパートが中小企業の埋もれた発明を発掘し、世界的に認められる「特許明細書」作りにつながる「発明仕様書（届け書）」として記述できるように指導し、弁理士に橋渡しする。

また弁理士が作成した特許明細書が、中小企業

が作成した発明仕様書を反映し、特許として保護したい権利が主張できているかをチェックする。さらに特許出願の目的に合った知財戦略を策定するなど、知財に関して総合的にバックアップする。

現在、知財エキスパートは5人程度で、今後、

不足が予測されることがから、12年2月に「知財経営塾」を開校し、知財エキスパートも育成していく。知財経営塾には正会員企業の知財担当者にも参加を促し、能力アップを図る。

中小企業が中国など海外展開をする際、技術を知財財産化することが急

務となっている。だが、中小企業には知財専門家のネットワークがない。また中小企業を対象とする知財専門家が少ないの

が現状。そこで中小企業に適する知財エキスパートをマッチングする。

矢間理事長は「知財専門家の多くは大企業で設計を担当してきた者が多く、知財経営の視点が欠けている。中小企業は強い特許を作り、特許を武器にして海外で勝負していかねばならない。中小企業の目線にたてる専門家が必要だ」と話している。

2011年(平成23年)12月23日 金曜日  
日刊工業新聞